

シエノピラフェン(商品名:スターマイトフロアブル)の野菜, 果樹の ハダニ類に対する防除効果

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

ハダニ類は園芸作物において、薬剤抵抗性の著しい発達などから難防除害虫とされている。そのような中、シエノピラフェンはハダニ類の卵から成虫まで、すべての齢期に対して高い殺虫効果を示す。また、訪花昆虫や天敵にはほとんど影響はなく、薬剤ローテーションに組み入れやすい薬剤であるため普及情報とする。

2 普及情報

1) シエノピラフェンフロアブルはリンゴハダニやナミハダニに対して、対照薬剤のミルベメクチンやピフェナゼート、アセキノシルと同程度に高い防除効果を示す(図1~3)。

a 薬剤名 シエノピラフェン(商品名:スターマイトフロアブル)

b 有効成分, 物理化学的性状

a) 有効成分:シエノピラフェン 30%

b) 性状:淡褐色水和性粘稠懸濁液体

c) 毒性:普通物, 魚毒性:C類相当

c 主な適用作物と対象害虫

いちご, すいか, なす, りんご, なし, もも, おうとう:ハダニ類

d 使用方法

a) 使用時期:収穫前日まで

b) 使用回数:1回以内

c) 使用濃度:2,000倍液

d) 使用方法:散布

2) 本剤は既存の薬剤のうちシフルメトフェン(商品名:ダニサラバフロアブル)と同じ作用機作を有するとされているが、その他の薬剤とは異なる系統である。また、訪花昆虫や天敵への影響は少ない。

3 利活用の留意点

1) 使用に際しては容器をよく振る。

2) ボルドー液との混用は効果が劣るので避ける。

3) 散布量は対象作物の生育段階, 栽培形態および散布方法に合わせて, 使用残りの薬液が生じないように調整し使い切る。

4) 植物体への浸透移行性がないので, ハダニ類の発生初期に散布むらのないよう, 葉の裏表にていねいに散布する。

5) 蚕に対して影響があるので, 周辺の桑葉にはかからないようにする。

6) 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼす恐れがあるので, 河川, 養殖池等に飛散, 流入しないように注意する。

7) 本剤の価格は500mlで 円程度である。

(問い合わせ先:農業・園芸総合研究所園芸環境部 電話022-383-8123)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

新農薬による園芸病害虫の防除 平成15～16年度, 平成19年度

2) 参考データ

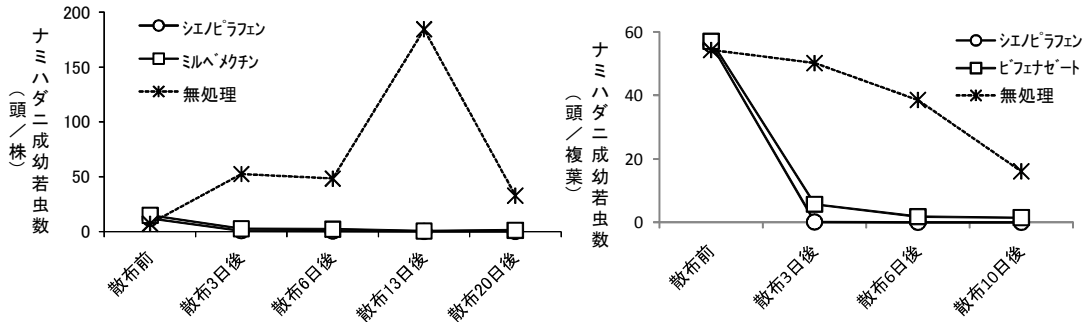


図1 いちごのナミハダニに対するシエノピラフェンの防除効果
(左図:平成15年, 右図:平成19年, 農園研内, 品種:とちおとめ)
シエノピラフェン:スターマイトフロアブル2000倍液, ミルベクトン:コロマト水和剤2000倍液,
ビフェナゼート:マイトコーネフロアブル1000倍液 散布月日:平成15年4月25日,
平成19年6月12日, 各3反復

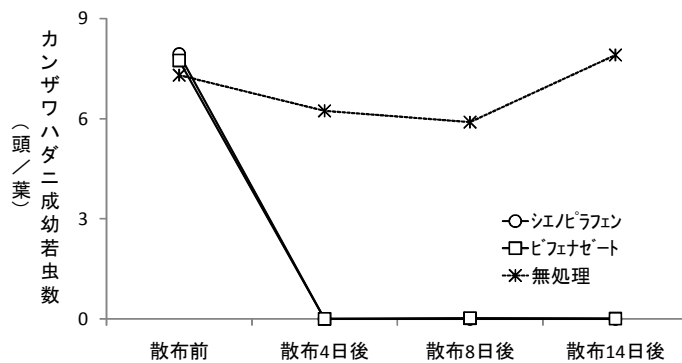


図2 なすのカンザワハダニに対するシエノピラフェンの防除効果
(平成17年, 農園研内, 品種:式部)
散布月日:平成17年9月22日, 3反復

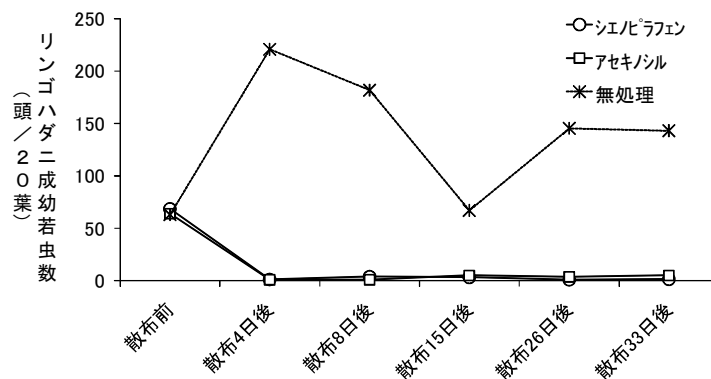


図3 りんごのリンゴハダニに対するシエノピラフェンの防除効果
(平成16年, 農園研, 品種:ふじ)
アセキシル:カネマトフロアブル1000倍液, 散布月日:平成16年6月3日, 3反復

3) 発表論文等 なし